

SATOYAMA 月の宴

当日会場 MAP



STAGE PROGRAM

幻想的な「影絵」の世界を里山で

夜の里山は幻想的な影絵の舞台になります。影絵の魅力は切った線の美しさと、影絵を映し出す光の美しさ。光は影を生みだし、光の透明感が見る人々に夢と幻想を呼び起こしてくれます。'かにむかし'は故、綾部東洋子により昔話のさるかに合戦を影絵用に台本を起こし作られた物語です。それにオリジナルの音楽を付けました。歌の影絵は子供たちに人気の歌を6曲選びました。是非一緒にうたきましょう。

【あけびの会】

ボランティア影絵グループあけびの会は1963年、日本大学芸術学部で誕生しました。私たちの影絵は、すべて自分たちで手間暇かけて制作、公演するものです。今も「原始的な手法」にこだわる公演は商業主義には不向きです。演じ手の距離は、常に観客の息遣いが感じられることを目標としてきました。あけびの会創設から60年間、国内外でボランティア公演を続けてきました。海外ではニュージーランド、パキスタン、トルコ、リトアニア、ルーマニア等に、国内では幼稚園、保育園などで公演をしています。東日本大震災被災地公演は今年で10回を数えます。創設者の綾部東洋子が急逝し、この会の存続が危ぶまれましたが、会のメンバーの'あけびを残したい'という強い意志の下、現在も活動を続けています。



STAGE PROGRAM

伝統芸能を秋の里山で「里神楽」

三芳町指定無形民俗文化財 竹間沢里神楽 前田社中

三芳町竹間沢の陰陽師であった前田家が神楽師として家元を務め、古事記や日本書紀の神話を原典とした演目や創作芝居を、江戸時代晚期より行ってきました。前田社中は、江戸里神楽の流れを汲み、神楽師自ら面を彫ったことに特徴があります。神楽は、神楽面をつけて役を演じ、体全体を使ったしぐさで役柄や場面を表現するのが特徴です。三芳町指定無形民俗文化財に指定され、神社の祭礼での神楽舞の奉納や、舞台披露で伝統文化の普及に努めています。



【演目】天孫降臨 (てんそんこうりん)

天孫降臨の神話を神楽に取り入れたもの。天照大御神(アマテラスオオミカミ)が、孫の邇々芸命(ニニギノミコト)に、豊葦原中津国(トヨアシハラノナカツクニ)を高天ヶ原(タカマガハラ)のようにすばらしい国にするため、天降るように命じ、この国を豊かにそして平和に治められていく様子を語り伝えるお話です。この神話を私達の祖先は稲作の起源として語り継いできました。

月の宴 特別プログラム

くめぎの森のナイトウォーク ～秋の夜長の里山探検と昆虫観察～



動植物だけがすごす夜の里山をご案内。秋の鳴く虫に聞き耳をたてて観察したり、ライトに集まる虫を観察してみよう。夜の里山は昼とは違う顔を見せてくれます。専門スタッフが夜の里山をご案内。夜の森のライトトラップに集まる虫たちも解説します。

17:30～ ※受付は15分前オークリーフにて

参加料金 お1人様 2,860円(税込)

里山の夜は 「焚き火」の炎を囲もう



里山の夜長を焚き火の炎を囲んで楽しもう。焚き火体験で、デザート手作り～スモアづくりにもチャレンジしよう。アツアツデザートがその場でつくれます。

開催時間 17:00-20:00 随時受付

STAGE PROGRAM

「和太鼓」で秋祭りさながらのにぎやかさを



日本の伝統和楽器である和太鼓が持つ奥深い響きやパワーの魅力を活かし、伝承曲や時代のニーズを意識した楽しめる創作曲で、多くの人の心にいつまでも残る演奏をお送りします。子供和太鼓体験も実施します。

【龍鼓 / 和太鼓】

2000年辰(龍)年より、所沢市を拠点に活動中。地域イベントや埼玉県内の介護施設イベントに伝統楽器や和太鼓演奏で男性中心メンバーで活動しています。

STAGE PROGRAM

里山の夜長をオーボエの音色でしっとり



秋の夜長に、 オーボエの生演奏で癒しの時間をお届けします

【オーボエ奏者 三木サトル】

東京都出身のオーボエ奏者。武蔵野音楽大学卒業後、26歳よりプロ活動を開始。ジャズやポップスのジャンルで全国的に活動。ライブ以外に、講師としての指導もしている。2017年、大田区民プラザ大ホールで「三木サトル Anniversary Live」を企画、250名の動員に成功。



月の宴・縁日 里山ボウリング・わなげ



秋の夜を楽しむイベントを他にもご用意！夜の里山で、本格的なボウリングやわなげを楽しめる小さな縁日エリアもご用意します。

月の宴 特別仕様ミニSL



夜の特別列車、ライトアップした月の宴仕様ミニSLが夜の里山を走ります。風間とは違う、夜の里山の景色をお楽しみください。